

令和3年度「見える」安全活動コンクール応募資料

応募案③兼任現場における、遠隔朝礼の取組み

2021年9月27日

仙台支社 住宅事業部 工事部
建設デジタル推進部



エコ・ファースト企業
環境大臣認定

We Build ECO

応募案③兼任現場における、遠隔朝礼の取組み

■取組の背景

- ・兼任現場における工事担当者（現場監督）は、複数の担当現場があり、全物件に対して、作業開始前の安全指導や声掛けが物理的に困難だった。
- ・離れていても、映像+音声でのコミュニケーションを図ることができるICTを施工現場で活用可能な環境が整備されてきた。（スマートフォン、TV会議システム等）

■遠隔朝礼の取組み

- ・各現場と工事管理者が「ビデオ会議形式でつながる遠隔朝礼」で、各現場の作業前の状況、作業員の状況を見える化を実施。

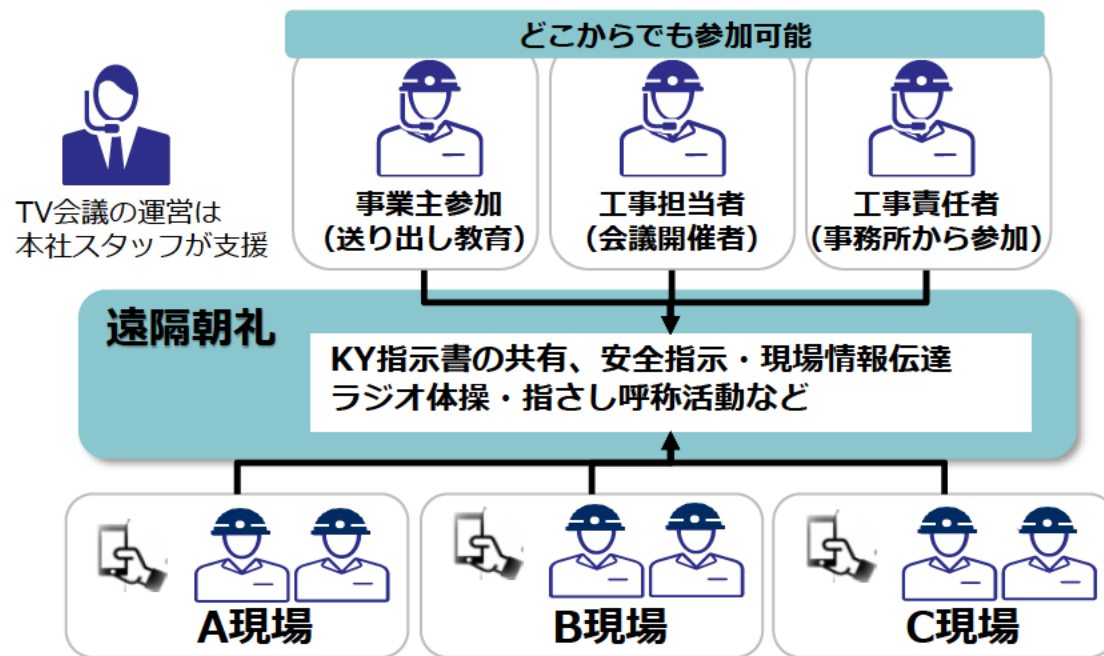
■メリット

- ・兼任現場の工事担当者が現場作業員に対しても、映像を通しての表情を確認しながら会話することで、安全に対する意識付けができた。
- ・当日、朝から現場入場の予定でない建設作業員も、遠隔から参加してもらうことで、安全指示や現場独自ルールなどの伝達を、抜け漏れなく実施できた。
- ・事業主が遠隔で参加でき、送り出し教育も徹底が図れている。

■その他PRポイント

- ・複数の現場で実施することで、作業員同士のコミュニケーションも活発になり、モチベーション向上にも寄与。
- ・経験の浅い工事管理者も、参加することで、現場に対する安全指示方法を学ぶ場としても活用できる。

遠隔朝礼の仕組み



TV会議システム画面

